



# 公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第129号 2023年12月13日 発行



## 「魅せて」「見せて」「参加しよう」 第23回東海北陸作業療法学会

第23回東海北陸作業療法学会 兼・第32回石川県作業療法学会

学会長 東川 哲朗  
(恵寿金沢病院)

第23回東海北陸作業療法学会(第32回石川県作業療法学会)を来秋9月14日(土)～15日(日)石川県・金沢市で開催する。開催に向け、種々の準備を進めている。オール石川で挑みたいと思う。

日本作業療法士協会は五か年戦略の中で地域共生社会構築への寄与、組織力強化を挙げている。地域共生社会の実現には、その地域で暮らすすべての人々を対象に、人と人のつながり、人と社会のつながりを創り出す作業療法が必要で、この理念の作業療法の理解と実践の為の人材育成は重要な課題となる。本学会がその一端を担えればと考える。組織力強化には将来の仲間として作業療法学生との関わりも重要であり本学会では学生セッションを設ける。加えて生涯教育も含めた教育に関するセッションも設けた。職場の人材育成に関わる方には有益なものになると考えている。

さて、一方で作業療法士が置かれている状況はどうかであろうか。決して良い状況とは言い切れないと、やや悲観的に感じている。「作業の力を魅せつけろ」という挑戦的なテーマを掲げた。私事となるが自身の性格

を考えた時、このようなアグレッシブなテーマはできるだけ避けてきた。しかし、そうやって来たことは良かったのか。もっと先人の人が「作業療法の良いところ」「成果・効果」について自信を持った言葉で、アピールしてくれたら良いのと思う方もいると思う。皆さんの日頃の素晴らしい作業療法の実践を集める学会にしたいと思っている。

公開セミナーは、作業療法の実践を経験された地元アナウンサーの塚田君様を講師にお迎えして開催する。地元テレビ番組で県内各地を周られる企画にて人気を持つ方である。作業療法の良いところについて、いつもの軽妙な語り口でどの様なお話を伺えるか楽しみにしている。

コロナ禍が明けたかどうか不透明な時期が続いている。本学会は参集型をメインにした開催を考えている。感染症の影響で色々な活動を自粛されていた方も是非、現地で参加頂きたいと願っている。

皆様のチャレンジング、日ごろの作業療法の紹介を存分にして頂きたい。

## 当会の災害対策に関する活動について

災害対策委員会 理事 東 ひとみ  
(石川県リハビリテーションセンター)

毎年9月25日に実施される日本作業療法士協会の災害訓練に参加した。今年度より災害は中長期的な支援が必要なため、発災直後と発災1か月後の訓練を行った。当士会は参加5年目となり、昨年度から理事および災害対策委員の所属機関と、事前登録した機関を対象に実施し、今年度は迅速に状況把握ができるよう、Googleフォームを用いた。結果、発災直後、58機関(回答率80.6%) 376名、約1カ月後61機関(回答率84.7%) 356名の会員の安否と所属機関の状況が確認できた。

また、当士会は、一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(以下、JRAT)の地域組織にあたる石川 JRAT の構成団体であり、石川県内で災害が

発生した場合、災害リハビリテーションにおいて組織的かつ直接的支援を担うことを県民から期待されている。そこで、発災時の災害リハビリテーションへの協力について、各会員へ調査を実施した。結果、160名から回答を得られ、所属施設の許可があれば参加可能102名、個人参加可能24名、事情により参加困難31名、状況により流動的に参加可能3名という回答を得た(回答率18.3%)。

今後も当士会として発災時の全会員の安否確認と連絡を検討するとともに、発災リハビリテーションへの協力について体制を整えるにあたり、会員へ研修会等とおして啓発を図っていきたい。

## 令和5年度研修会「移乗動作のアセスメントと実習」の報告

福祉機器部 部長 和知 晋太郎  
(片山津温泉丘の上病院)

今年度は久々に参集型で研修会を開催し、「移乗」をテーマにトランスファーボード等を使用した実技演習を行うことができた。オンラインとは違い、実際に福祉用具に触り、使用体験できるのは参集型研修会の醍醐味だと改めて感じた。また自分自身が移乗介助をされる側の体験をすることで、移乗の際の注意点など、より深く理解することができた。トランスファーボードに関する移乗の基本はわかっていたつもりだったが、より患者様、介助者が楽になるポイントを多く学ぶことができた。またスライディングシートは、患者

様の体をベッド上で移動させるのに使用することは知っていたが、車いす移乗に使用する方法は参考になった。

講義においては、移乗アセスメントを「立位移乗」「座位移乗」「リフト移乗」にわけ、それぞれに応じた福祉用具の紹介やその使い方をレクチャーされており、大変参考になった。また、紹介された用具が実際に会場に置いてあり、実習に使ったり、見ることもできたのは大きな収穫であった。



## 第2回「中高生と高齢者の交流会」開催

事業部 宮本 麻優

(専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)

この交流会は中高生が高齢者にスマートフォンやタブレットの使い方を教えることで世代間交流を図るものである。また、中高生向けOTセミナーも実施し、作業療法に興味をもってもらうことも目的としている。

今年度第2回は11月5日(日)に、金沢市昌永町にある「みんなの家ゆり」で開催された(共催：地域包括支援センターかすが)。参加者は高校生2名、高齢者8名であった。

一軒家のアットホームな雰囲気の中、スタッフも入って1対1でタブレット等を使用し、日頃高齢者が悩んでいる操作等について伝え合った。参加した高齢者は普段若い世代との交流がない方が多く、「自分で操作できるのは嬉しい」「気軽に教えてもらえて楽しかった」等の感想が聞かれ笑顔も多かった。高校生からは「楽しかった。また参加したい」と感想が聞かれた。今回、タブレット等の操作という共通の作業を通して活発な世代間交流を図ることができた。今

後もこうした取り組みを通して中高生に作業療法の魅力を発信していきたい。



## ジョブカフェ石川のシェルパとして、作業療法を伝える

事業部 浜川 健

(石川県済生会金沢病院)

9月27日に本多の森庁舎にて内灘高校の1年生、約20名に「作業療法の仕事」と題して話をする機会をいただいた。1時間の講話の中で、「作業療法士の仕事内容」「作業療法士としてのやりがいや、苦勞すること」「高校生のうちにしておいた方がいいこと」などを説明した。参加者からは、給与に関してのリアルな質問や、具体的な治療場面のエピソードに関して質問があった。私より10歳年下の高校生にわかりやすく伝え、興味をもってもらうことの難しさを経験した。私自身、経験年数は4年目であり、こういった地域での活動は経験がなく、社会貢献の難しさや大切さを学ぶ良い機会となった。次回の職業講話の依

頼があれば今回の内容をさらに深化させ、より作業療法の魅力を伝えられるよう努力していきたい。





## 令和5年度いしかわ介護フェスタに参加して

老年医療部 部長 谷口 美樹  
(デイサービスすまいる珠洲)

令和5年11月4日(土)に石川県産業展示館において「いしかわ介護フェスタ」が開催され、老年医療部と金沢東支部のスタッフ10名が当会のブース担当として参加した。

作業活動体験としてポンポン手芸を行い、就学前から小学校高学年の子どもや高校生たちが毛糸を選んで巻く作業を体験し、上手く完成したポンポンを持ち帰り、とても喜ばれていた。運動活動体験として、スタッキングタワー(リハビリテーションスポーツフェス)と風船パレー、ポッチャを行った。利き手と非利き手でタイムを比べたり、タイムや点数を兄弟姉妹や親子で競争したりする形で体験してもらい、盛り上がった。また、作業療法や認知症予防のヒント、暮らしのひと工夫、COTOTのパンフレットを配り、

いつでもどこでも脳活プログラムの動画の紹介も行った。

子どもたちの活動体験への参加を通して、親世代の多くの方々に作業療法について知ってもらうことができ、とても良かった。



## 運転と作業療法に関する委員会の活動について

運転と作業療法に関する委員会 委員長 高間 達也  
(七尾自動車学校)

当委員会は、2017年から自動車運転を含めた対象者の移動について、県内OTの支援の質の均等化と向上、OTのネットワーク作りを目的に活動している。年2回の勉強会では、(一社)日本作業療法士協会が作成したパンフレット「押さえておきたい! 運転再開支援の基礎」に沿ったミニレクチャー「自動車運転支援の流れ」、「身体機能の評価」、「認知機能の評価」、「実車・シミュレーター」を4回シリーズで行っている。

また、事例検討も併せて実施しており、OT同士で情報交換を行い臨床現場でのよりよい支援に繋がれば幸いである。第1回勉強会は10月13日に開催され、31名の参加をいただいた。勉強会では、質問や意見交換がされ有意義であったと考えている。第2回勉強会は2024年3月の予定であり、ミニレクチャーは「身体機能の評価」を計画している。多くの方のご参加をお待ちしている。

## 作業療法実践セミナー開催 「中・高齢期の手の疾患におけるスプリント療法」

身障医療部 理事 永井 亜希子  
(恵寿総合病院)

今年度はハンドセラピーのスペシャリストである福井県作業療法士会の中山幸保先生、石川県作業療法士会の西村誠次先生・堀江翔先生を講師にお招きし、講義とスプリント作成の実習を取り入れた研修を開催した。

講義では、中・高齢期にみられる手の疾患やスプリント療法の有効性について、事例を交えて具体的に教えて頂いた。実技では、サムスパイカ(ロングとショート)の作成を行った。講師の先生方の実演後にグループに分かれ、それぞれ作成を行った。先生方も随時回って丁寧に教えて下さり、参加者も確認し合いながら進めていくことができていた。

今回の研修では、基礎的なところからスプリント作成時の注意点まで細部にわたり講義をして下さったため、3時間の研修時間であったが、参加者からは、下記のような感想があり、有意義な研修になっ

たと思われる。

以下、参加者からの感想の一部抜粋。

高齢者の方の手の変形や痛みの方がとても多く、その点に関して、視点と知識が増えて勉強になった。担当疾患以外にも併発している可能性を考えるきっかけになった。スプリント作成のハードルが下がった。実際にスプリント作製の手本をみられたのがよかった。



## 県士会活動における保険制度について

高橋 晃弘

(有限会社ライズアレンジメント)

石川県作業療法士会様では令和5年9月30日付で三井住友海上火災保険株式会社の(1)業務災害補償保険と(2)福祉事業者総合賠償責任保険に加入された。

(1)業務災害補償保険は、士会従業員や役員・部員等の事業活動にかかわるケガなどのリスクを補償する保険である。

(2)福祉事業者総合賠償責任保険は、士会の所有、使用または管理している各種施設等の不備や事業活動上のミスが原因で生じた第三者の身体障害や財物損壊等により、被害者に対して損害賠償責任を負担した場合等の賠償リスクをカバーする保険である。

石川県士会様より依頼頂き、士会の運営安定化や従業員、役員・部員等の福利厚生充実を図ること

を目的として、これらの保険に加入して頂きましたので簡単ではありますが、保険の紹介をさせて頂いた。

(1)業務災害補償保険



(2)福祉事業者総合賠償責任保険



## 石川県作業療法士会キャリアラダーの紹介

管理運営教育部 理事 桂 靖典  
(木島病院)

この度、当士会は石川県内の作業療法士のキャリアアップの為にロードマップとして「石川県作業療法士会キャリアラダー」を作成した。本ラダーは「臨床実践能力」「学習」「人間性・社会性」を3つの柱としている。本ラダーは新卒者だけでなく経験を積んだ作業療法士も使用の対象としている。

3つのラダーは横列に各レベルの5段階を提示し、縦列に小項目を提示している。まずはラダーを確認して頂くとラダーの小項目ごとの自分のレベルが把握できると思う。そして次のレベルに上がる為に、自分はどのように日々の業務に励み、研修や学会等に参加し自己研鑽を積み、県士会活動に協力し、そして地域貢献を目指せばよいかを確認して頂きたい。

先月より本ラダーに関するアンケート調査を実施している。アンケート結果を元に管理運営教育部は会員のキャリアアップのフォローをしていきたいと考えている。是非、石川県内の作業療法士全員がキャリアアップを目指し、全国トップクラスの作業療法士の質の維持を目指して行きたい。



HPキャリアラダー URL



アンケートQRコード

### 新人作業療法士へのおすすめ書籍紹介

#### 対人援助の現場で使える便利帖シリーズ 著者：大谷佳子

菊池 ゆひ  
(金沢大学)

「どう返事するのが正解?」「どう聞いたら、もっと自分の話をしてくれる?」など、日々、対象者の前で自問自答しているあなたに、私が勧める書籍は「対人援助の現場で使える便利帖シリーズ」(大谷佳子著、翔泳社)である。この本のおすすめポイントは3つで、①介護・福祉・医療・看護業界を対象としており、あるある例が多い、②場面がイメージしやすい平易な表現と心理学をベースとしたわかりやすい解説、③薄いから気楽に読めて、明日使ってみようと思える一言が見つかる、である。現在、「聴く・伝える・共感する技術」「質問する技術」「承認する・勇気づける技術」「言葉<以外>で伝える技術」「傾聴する・受け止める技術」の5冊が出版されている。

新人に限らず、同僚とのコミュニケーション、教育に大いに役立つ最近の私のお気に入りである。気になった方は、こちらのQRコードからチェックを!



大谷先生の書籍一覧



## 能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

11月17日に第3回MTDLP検討会を開催し21名の参加があった。『度重なる受傷で希望と意欲に乖離がみられたが、MTDLPを用いて排泄を獲得した事例』について、疲れ易く落ち込み易い事例の思いを汲みながら、尿閉への介入の可能性について議論を交わした。発表者からは次に活かしたいと意欲に満ちた声が聞かれ、参加者も様々な考えが共有でき有意義な時間となった。2月3日に事例検討会、研修会を予定。是非、皆さんとよい時間を共有したい。

## 加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

11月1日(水) 19時よりZoom形式で開催された第2回MTDLP事例検討会は2事例、20名の参加であった。脳梗塞の既往があり、拒否的な態度を呈していた気管支肺炎、尿路感染患者に対し、本人や家族の希望に沿って環境調整やトイレ動作にアプローチした事例や、家族と疎遠で自宅や車がゴミであふれ、生活が破綻している脳梗塞患者に対し、多職種と連携しながら生活の再建に携わった事例が報告された。検討課題としては拒否のある方に対する接し方や社会資源の活用法などについて討議がなされた。今回も輪島市から参加された方がいた。今後も支部の枠を超えた参加を期待する。

## 金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

金沢市社会福祉協議会主催の福祉のつどい2023金沢に、作業療法の普及啓発を目的に参加した。今回は、作業療法紹介パネルの展示、自助具の作成(ストローホルダー、ソックスエイド)とCOTOT等パンフレットの配布、福祉用具の展示を行った。当日は、まだ残暑の残るなか参加者は例年よりも少なめの様であったが、約50名の方に当士会のブースに立ち寄っていただいた。親子連れが多く、なかには熱心に作業療法紹介パネルを見ている小学生も見られ、作業療法に関心をもってきているようであった。



## 金沢東支部

公立河北中央病院 市川 翔悟

9月23・24日に大手町健康プラザにて金沢健康づくりフェアに参加し、住民向けに認知症相談・検査を行った。多くの住民の方がブースに来られ、相談後は「こういう支援があることを知れて安心した」という言葉も聞かれた。作業療法を周知するためにも今後も協力をお願いしたい。

10月26日に第2回金沢東支部事例検討会がハイブリット形式で開催された。今回は14名の参加であった。事例検討会では、事例を学ぶだけでなく、他施設で何が行われているかを知ることの出来る貴重な機会でもあるため多くの参加を期待したい。また、今回から交流を目的とした飲食も再開されたため、他支部からの参加についても歓迎したい。

## ◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時：令和5年9月6日(水) 19時00分～21時 場所：西泉事務所およびZoomによるWEB会議
  - 出席理事：東川、麦井、菊池、桂、東、(以上会場)種本、堀江、中森、米田、永井、酒野、加藤、高多、坂下、鈴木、越田(理事16名)長原、市川、小川、西村(支部長4名) (以上Zoom)書記：山本(Zoom)、濱岸、築山(会場)  
欠席理事：合歡垣、村井
  - 【審議事項】
    - 《財務部》東海北陸学会準備のため予算執行が必要で学会積立金の取り崩しについて、承認を求める。正式には理事会で審議し、承認いただいてから積立金を取り崩しする。 **保留**
    - 《執行部》①士会活動の保険加入をしたいと考える。 **承認**  
②東海北陸リーダー研修会が11/26に静岡県で開催される。参加者を9月中旬に知らせてほしい。 **継続**
    - 《広報部》①県士会ニュース129号について：割符案について承認 原稿メ切について：130号まで間をあけるためメ切を11/15、発行を12/13とする。 **承認**  
②COTOT第10号について：割符案について 切磋琢磨しているイメージは広報部で再検討する。 **継続**  
③オンライン校正システムの導入について：試しに129号から実施してみる。 **承認**
    - 《事業部》①ボランティア活動証明書の発行手続きの簡略化：参加生徒から証明書の発行依頼あり。生徒・当会ともメリットがあるので、今後は全参加者に発行したい。公印省略せず発行する。 **承認**  
②「県内進学、県内就職」を含めた広報について：過去に事業部が担当していた経緯がある。改めて担当部署および目的を確認したい。 **継続**
- 【報告事項】各部局、支部より報告があった。

## ◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事会 議事録◆◆◆

- 日時：令和5年10月20日(金) 19時00分～19時30分 場所：西泉事務所およびZoomによるWEB会議
- 出席理事：東川、麦井、米田、桂、菊池、東、堀江(理事7名会場)合歡垣、種本、永井、中森、坂下、鈴木、高多、酒野、加藤、村井(理事10名Zoom)出席支部長：市川、長原、小川(支部長3名Zoom)後出氏、進藤氏(監事2名Zoom)、欠席理事：越田、欠席支部長：西村 書記：濱岸(会場)
- 議事【議決事項】
  - ＜第1号議案＞令和5年度中間決算及び補正予算について、米田副会長兼財務理事より収入は当初予算より会費収入は26万減、事業収入は県の補助金を差し引くと約20万減収と説明された。支出は事業費は当初予算は1,100万強、決算見込みは960万強で約160万円減、管理費は当初予算200万弱、決算見込みは200万強で、概ね妥当と報告された。当期経常増減額がマイナス29万で現状では適正範囲の予算である事、昨年度の寄付金は公益性のあるリハスポーツフェスに運用したと説明できると報告された。 **承認**
  - ＜第2号議案＞東海北陸作業療法学会について  
堀江実行委員長から概要説明、米田財務担当から学会予算の説明があった。収入は合計1373万円、支出は運営業者に委託費709万円を支払う。特別会計として積立金を取り崩し、実行したいと説明があった。東川学会長より今まで会員が行っていた作業を外注し会費を下げて、多くの会員が参加できる学会にしたいと説明があった。 **承認**

## ◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時・場所：令和5年10月20日(金) 19時30分～21時 西泉事務所およびZoom使用によるWeb会議
  - 出席：第3回理事会に同じ(監事以外)
  - 議事【審議事項】
    - 《執行部》東海北陸リーダー研修会の参加者が3名未定。推薦者3名に確認する。 **承認**
    - 《企画部》2024風船バレーボール大会は10月で石川県スポーツセンターを押さえる。 **承認**
    - 《事業部》能美市ボランティアフェスティバルの担当部局について、来年度から加賀支部が担当する。 **承認**
    - 《地域保健－福祉部》成人期以降の就労支援事業、流れや制度等について多くの会員に参加してもらうため他の研修会と抱き合わせたり、アナウンスを工夫する等部内で再検討する。 **継続**
    - 《広報部》COTOT第10号表紙案について、金沢医大の吉田さんを推薦したい。発達分野で鈴木理事の助言が欲しい。笠間玲子さん、坂下理事に企画依頼をしたい。 **承認**
    - 《発達障害支援部》2月の現職者選択研修の講師担当だが、認定OTがない。基礎研修修了者でもよいのか？ **継続**
- 【報告事項】各部局、支部から報告があった。



**インフォメーション** 研修会案内・県士会活動

12月15日(金) 能登支部  
なんでも相談会

2月2日(金) 金沢東支部  
第3回事例検討会

12月16日(土)  
地域保健福祉部福祉研修会

2月3日(土) 能登支部  
研修会・事例検討会

1月17日(水) 第3回金沢西支部  
MTDLP事例検討会

2月7日(水) 加賀支部  
第3回事例検討会

1月20日(土) 21日(日)  
臨床実習指導者講習会

2月12日(月)  
認知症対応委員会研修会

1月24日(水) 金沢東支部  
第2回MTDLP事例検討会

2月18日(日)  
北陸三県MTDLP事例検討会

1月28日(日)  
精神医療部研修会

2月20日(火)  
地域保健福祉部福祉勉強会



「超高齢社会」における  
現場での悩みを解決したい方や、  
学びの追及をしたい方へ。

**金城大学 大学院で学んでみませんか？**

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

遠隔オンライン  
学習対応

安心設定の  
学納金

就業しながら学べる  
昼夜開講制



2022 年度

「作業療法士」  
国家試験合格率 **95.7%** (2022 年度卒業生実績)  
(全国平均 91.3%)



**金城大学**

詳しくは、  
ホームページを  
ご覧ください。



全国に広がる有料老人ホーム

## パーキンソン病専門 PDハウス

**施設 ビジョン**

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気でもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの思いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

**働き方改革 目標**

2023 年に向けた

公休数 <b>120日</b>	残業 <b>0時間</b>	有給取得 <b>100%</b>
--------------------	------------------	---------------------

**PDハウス野芥 笠松 朋枝**

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けをもらうことが多いのですが、これからは私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

**出店計画**

<b>北海道エリア</b> PDハウス西野 ..... 2020.11 札幌2号店 ..... 2021.春	<b>関東エリア</b> PDハウス相模大野 ..... 2021.01 東京1号店 ..... 2021.夏 神奈川2号店 ..... 2021.秋
<b>福岡エリア</b> PDハウス有田 ..... 2020.06 PDハウス今宿 ..... 2021.05	<b>関西エリア</b> PDハウス岸部 ..... 2021.06 大阪2号店 ..... 2021.秋

働き方  
公開中!

介護サービス  
**サンウェルズ**

**| 0120-905-166**

## 賛助会員名簿 (順不同)

### A会員

社会医療法人財団董仙会  
学校法人 金城学園

### B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ  
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑  
特定医療法人社団勝木会  
医療法人社団和宏会

### C会員

粟津神経サナトリウム  
石川県済生会金沢病院  
石川県リハビリテーションセンター  
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院  
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院  
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院  
医療法人社団浅ノ川千木病院  
医療法人社団映寿会  
医療法人社団さくら会森田病院  
医療法人社団慈豊会  
医療法人社団丹生会  
医療法人社団生学生会んやま健康クリニック  
医療法人社団扇寿会  
医療法人社団長久会  
医療法人社団千木福久会  
社会福祉法人寿福祉会  
医療法人積仁会

金沢医科大学病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院  
金沢赤十字病院  
公立穴水総合病院  
公立宇出津総合病院  
社会福祉法人篤豊会  
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック  
城北病院  
珠洲市総合病院  
芳珠記念病院  
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院  
医療法人社団持木会 柳田温泉病院  
医療法人社団 光仁会  
医療法人社団橘会整形外科米澤病院  
宇野酸素株式会社  
金沢義肢製作所  
株式会社トータルシステム  
株式会社トミキライフケア  
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店  
セントラルメディカル株式会社  
株式会社 メディベック  
株式会社 サンウェルズ

### D会員

医療法人社団 あいずみクリニック  
有限会社 さわやか金沢  
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

## Web会員手続きQRコード



### QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員  
登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいた

メールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード ▶



## 会員数

会員数 876名(令和5年11/15現在) 認定作業療法士 38名(令和5年11/15現在)

専門作業療法士 5名(令和5年11/15現在)

## 編集後記

師走の忙しい中、私は今年もメルカリやアマゾンを活用してお買い物を楽しんでいます。特に注目しているのは、ふるさと納税です。寄付金の使い道も多様で、市が直営の児童精神科診療所の運営や学校作業療法室、思春期健診、読み書き困難児のICT支援等の事業に活用される自治体もあります。忙しい日々の中でのちょっとした贅沢や癒しの時間を提供してくれるオンラインショッピングは、私にとって心の拠り所となっています。今年もこの便利さに感謝しながら、年末を迎えたいと思います。皆さまも良いお年をお迎えください。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、永井亜希子、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、  
北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社